



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 雅信
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部长 (氏名) 蜂須賀 伸子 (TEL) 06-6120-2001
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	9,211	6.2	347	42.6	441	36.1	334	24.2
2025年3月期	8,672	7.2	243	25.2	324	22.5	269	△7.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2026年3月期	円 銭 69.01	円 銭 —	% 8.9	% 7.6	% 3.8
2025年3月期	円 銭 51.86	円 銭 —	% 7.5	% 5.7	% 2.8

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期	百万円 6,148	百万円 4,077	% 66.3	円 銭 840.83
2025年3月期	百万円 5,431	百万円 3,467	% 63.9	円 銭 714.99

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,077百万円 2025年3月期 3,467百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2026年3月期	百万円 543	百万円 △164	百万円 △197	百万円 1,498
2025年3月期	百万円 216	百万円 △110	百万円 △567	百万円 1,317

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 13.00	百万円 63	% 25.1	% 1.8
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00	百万円 72	% 21.7	% 1.9
2027年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 16.00	百万円 —	% 22.8	% —

3. 2027年3月期の業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	14.0	210	7.7	270	6.2	200	13.8	41.24
通期	9,400	2.0	350	0.8	450	2.0	340	1.6	70.11

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に関する注記

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	6,228,039 株	2025年3月期	6,228,039 株
② 期末自己株式数	2026年3月期	1,378,185 株	2025年3月期	1,377,853 株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	4,849,984 株	2025年3月期	5,197,627 株

発行済株式数に関する注記

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(修正再表示)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期のわが国の経済は、物価高の影響下にありながら、雇用・所得環境の改善により個人消費が拡大し、引き続き緩やかな回復が続きました。一方で世界経済はウクライナ情勢の長期化、中東情勢の悪化による原材料やエネルギー価格のさらなる高騰、米国の通商政策等による景気の下振れ懸念など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては新規顧客の獲得と既存顧客のお取引深耕に取組み、国際一貫輸送のさらなる受注獲得を目指して営業活動を展開してまいりました。円安の影響下にありながら輸入貨物の堅調な受注もあり、営業収入は増収、営業利益についても増益となりました。

以上の結果、当期における営業収入は前期比+539,294千円(+6.2%)の9,211,685千円となりました。営業利益は前期比+103,765千円(+42.6%)の347,338千円となりました。経常利益は前期比+117,158千円(+36.1%)の441,387千円となりました。当期純利益は前期比+65,153千円(+24.2%)の334,697千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

1. 港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、当社主要取引先の受注が堅調に推移したため、増収増益となりました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、前期比+573,907千円(+6.8%)の9,044,458千円で、全セグメントの98.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、前期比+106,100千円(+18.1%)の690,805千円となりました。

2. 自動車運送事業

当セグメントにおきましては、収益的には厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、前期比△35,140千円(△17.8%)の162,591千円で、全セグメントの1.8%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は、11,642千円(前年同期は13,032千円のセグメント損失(営業損失))となりました。これは燃料費等諸コスト高騰の影響によるものです。

3. その他

当セグメントにおきましては、前年同期とほぼ同水準となりました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、前期比+527千円(+12.8%)の4,635千円で、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、前期比+527千円(+13.0%)の4,595千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における流動資産は、前事業年度末より212,081千円増加して2,950,093千円となりました。これは現金及び預金の増加181,274千円、立替金の増加35,562千円、前払費用の減少7,573千円等によるものであります。

当事業年度末における固定資産は、前事業年度末より505,667千円増加して3,198,800千円となりました。これは投資有価証券の増加616,213千円、固定化営業債権の減少214,409千円、のれんの減少27,931千円、貸倒引当金の減少134,747千円等によるものであります。

当事業年度末における流動負債は、前事業年度末より52,549千円増加して1,274,510千円となりました。これは、営業未払金の増加99,220千円、1年内返済予定の長期借入金の減少28,479千円等によるものであります。

当事業年度末における固定負債は、前事業年度末より55,110千円増加して796,457千円となりました。これは、繰延税金負債の増加152,933千円、長期借入金の減少101,407千円等によるものであります。

当事業年度末における純資産は、前事業年度末より610,088千円増加して4,077,926千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加265,339千円、その他有価証券評価差額金の増加338,592千円、自己株式の取得による減少148千円等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動により543,549千円、投資活動により△164,332千円、財務活動により△197,943千円となりました。この結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末比+181,274千円の1,498,422千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

543,549千円(前期は216,070千円)でありました。これは、税引前当期純利益446,030千円、法人税等の支払額142,257千円、賞与引当金の増加1,966千円、仕入債務の増加99,220千円の計上が主な要因となっています。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

△164,332千円(前期は△110,480千円)となりました。これは、有形固定資産の売却による収入3,493千円、投資有価証券の取得による支出122,135千円、無形固定資産の取得による支出10,000千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

△197,943千円(前期は△567,936千円)となりました。これは、自己株式の取得による支出148千円、長期借入金の返済による支出329,886千円、長期借入による収入200,000千円、配当金の支払額62,576千円等に起因するものです。

(4) 今後の見通し

当事業年度は新規顧客の獲得と既存顧客のお取引深耕に取組み、国際一貫輸送のさらなる受注獲得を目指して営業活動を展開した結果、円安の影響下にありながら輸入貨物の堅調な受注もあり、営業収入、営業利益共に増加しました。

翌事業年度はウクライナ情勢の長期化や中東情勢の影響による原油価格上昇が国際物流や世界経済全体に影響を及ぼす可能性があります。また日本経済においては物価の高止まりが継続しており、事業コストの増加が続くと懸念され、先行き不透明な状況で推移するものと見込まれます。こうした事業環境は輸出入需要やサプライチェーン全体に影響を及ぼす可能性があり、今後の動向を慎重に注視していく必要があります。

当社といたしましては、社会情勢を的確に分析しながら、いかなる状況のもとでも収益基盤の強化、固定費の削減を意識し利益率の改善及び業務効率化を進め、高付加価値、高収益を目指したSCM(サプライチェーンマネジメント)を構築し、業績の発展を目指してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は非連結決算であり、また、海外への売上比率及び外国人の持株比率が低いことから、当面日本基準を継続適用する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,317,148	1,498,422
受取手形	236	—
営業未収入金	773,225	776,826
前払費用	40,044	32,470
立替金	604,348	639,911
その他	10,489	10,235
貸倒引当金	△7,482	△7,773
流動資産合計	2,738,011	2,950,093
固定資産		
有形固定資産		
建物	871,496	871,876
減価償却累計額	△800,701	△807,299
建物(純額)	70,795	64,577
構築物	28,564	29,864
減価償却累計額	△27,028	△27,197
構築物(純額)	1,536	2,667
機械及び装置	115,297	115,297
減価償却累計額	△90,126	△95,185
機械及び装置(純額)	25,170	20,112
車両運搬具	617,843	613,818
減価償却累計額	△600,455	△588,772
車両運搬具(純額)	17,388	25,046
工具、器具及び備品	130,214	136,315
減価償却累計額	△128,519	△128,815
工具、器具及び備品(純額)	1,694	7,499
リース資産	23,238	22,081
減価償却累計額	△13,230	△9,710
リース資産(純額)	10,008	12,370
土地	576,183	576,183
有形固定資産合計	702,776	708,457
無形固定資産		
のれん	55,862	27,931
ソフトウェア	90,840	78,833
ソフトウェア仮勘定	8,000	—
その他	4,188	4,188
無形固定資産合計	158,890	110,952

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	1,668,889	2,285,102
出資金	7,402	8,402
破産更生債権等	1,323	1,323
固定化営業債権	214,409	—
その他	75,513	85,886
貸倒引当金	△136,070	△1,323
投資その他の資産合計	1,831,466	2,379,391
固定資産合計	2,693,133	3,198,800
資産合計	5,431,145	6,148,894
負債の部		
流動負債		
営業未払金	704,316	803,537
1年内返済予定の長期借入金	266,265	237,786
リース債務	5,028	4,665
未払金	46,248	37,690
未払費用	36,379	37,368
未払法人税等	79,797	50,292
預り金	27,662	26,421
賞与引当金	48,533	50,500
その他	7,728	26,248
流動負債合計	1,221,960	1,274,510
固定負債		
長期借入金	383,675	282,268
リース債務	6,353	9,199
退職給付引当金	208,789	209,528
繰延税金負債	134,803	287,737
その他	7,724	7,724
固定負債合計	741,346	796,457
負債合計	1,963,306	2,070,967

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	35,178	41,483
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,233,834	1,499,174
利益剰余金合計	1,269,013	1,540,657
自己株式	△612,533	△612,681
株主資本合計	3,103,352	3,374,848
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	364,485	703,078
評価・換算差額等合計	364,485	703,078
純資産合計	3,467,838	4,077,926
負債純資産合計	5,431,145	6,148,894

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業収入	8,672,391	9,211,685
営業原価	8,068,719	8,499,995
営業総利益	603,671	711,690
販売費及び一般管理費		
役員報酬	55,770	52,560
従業員給料	52,391	46,196
賞与引当金繰入額	1,826	1,845
退職給付費用	1,925	1,287
福利厚生費	20,280	19,021
賃借料	8,296	8,184
租税公課	32,362	30,649
貸倒引当金繰入額	5,156	△8,071
保険料	36,901	59,089
減価償却費	14,625	25,528
交際費	2,767	3,442
のれん償却額	27,931	27,931
その他	99,863	96,687
販売費及び一般管理費合計	360,099	364,352
営業利益	243,572	347,338
営業外収益		
受取利息	170	562
有価証券利息	256	604
受取配当金	59,639	68,930
受取賃貸料	17,463	21,102
受取家賃	26,790	23,760
雑収入	8,716	21,936
営業外収益合計	113,035	136,895
営業外費用		
支払利息	6,324	6,837
賃貸費用	11,347	11,375
為替差損	14,192	23,298
雑損失	515	1,334
営業外費用合計	32,379	42,846
経常利益	324,229	441,387
特別利益		
固定資産売却益	1,272	3,493
投資有価証券売却益	76,206	1,149
特別利益合計	77,479	4,643
税引前当期純利益	401,708	446,030
法人税、住民税及び事業税	139,365	113,886
法人税等調整額	△7,200	△2,553
法人税等合計	132,164	111,333
当期純利益	269,543	334,697

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	2,394,398	52,473	52,473	29,092	1,031,238	1,060,330
当期変動額						
剰余金の配当				6,086	△66,947	△60,861
当期純利益					269,543	269,543
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	6,086	202,596	208,682
当期末残高	2,394,398	52,473	52,473	35,178	1,233,834	1,269,013

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・ 換算差額等 合計	
当期首残高	△312,437	3,194,765	546,406	546,406	3,741,171
当期変動額					
剰余金の配当		△60,861			△60,861
当期純利益		269,543			269,543
自己株式の取得	△300,095	△300,095			△300,095
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△181,920	△181,920	△181,920
当期変動額合計	△300,095	△91,412	△181,920	△181,920	△273,333
当期末残高	△612,533	3,103,352	364,485	364,485	3,467,838

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	2,394,398	52,473	52,473	35,178	1,233,834	1,269,013
当期変動額						
剰余金の配当				6,305	△69,357	△63,052
当期純利益					334,697	334,697
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	6,305	265,339	271,644
当期末残高	2,394,398	52,473	52,473	41,483	1,499,174	1,540,657

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・ 換算差額等 合計	
当期首残高	△612,533	3,103,352	364,485	364,485	3,467,838
当期変動額					
剰余金の配当		△63,052			△63,052
当期純利益		334,697			334,697
自己株式の取得	△148	△148			△148
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			338,592	338,592	338,592
当期変動額合計	△148	271,496	338,592	338,592	610,088
当期末残高	△612,681	3,374,848	703,078	703,078	4,077,926

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	401,708	446,030
減価償却費	43,844	51,846
のれん償却額	27,931	27,931
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,156	291
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△880	1,966
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,382	739
受取利息及び受取配当金	△60,065	△70,096
支払利息	6,324	6,837
為替差損益 (△は益)	3	△36
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,272	△3,493
投資有価証券売却損益 (△は益)	△76,206	△1,149
売上債権の増減額 (△は増加)	△33,350	△3,363
仕入債務の増減額 (△は減少)	85,807	99,220
立替金の増減額 (△は増加)	△98,699	△35,562
その他の資産の増減額 (△は増加)	5,958	88,298
その他の負債の増減額 (△は減少)	983	13,088
小計	303,861	622,547
利息及び配当金の受取額	60,065	70,096
利息の支払額	△6,324	△6,837
法人税等の支払額	△141,532	△142,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	216,070	543,549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△730	△24,966
有形固定資産の売却による収入	1,272	3,493
無形固定資産の取得による支出	△77,250	△10,000
投資有価証券の取得による支出	△279,832	△122,135
投資有価証券の売却による収入	246,059	1,150
その他の支出	—	△11,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,480	△164,332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△402,383	△329,886
自己株式の取得による支出	△300,095	△148
配当金の支払額	△60,345	△62,576
リース債務の返済による支出	△5,112	△5,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△567,936	△197,943
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△462,346	181,274
現金及び現金同等物の期首残高	1,779,495	1,317,148
現金及び現金同等物の期末残高	1,317,148	1,498,422

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は「港湾運送事業」、「自動車運送事業」を報告セグメントとしております。「港湾運送事業」は港湾運送輸出・輸入業、近海輸送業、港湾荷役業、倉庫業を含んでおります。「自動車運送事業」は、海上コンテナ輸送、フェリー輸送、トラック輸送を含んでおります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントごとの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	財務諸表 計上額 (注)3
	港湾運送 事業	自動車運送 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	8,470,551	197,732	8,668,283	4,108	8,672,391	—	8,672,391
外部顧客への売上高	8,470,551	197,732	8,668,283	4,108	8,672,391	—	8,672,391
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,314,257	491,084	1,805,342	—	1,805,342	△1,805,342	—
計	9,784,808	688,817	10,473,625	4,108	10,477,733	△1,805,342	8,672,391
セグメント利益又は損失 (△)	584,705	△13,032	571,672	4,068	575,740	△332,168	243,572
セグメント資産	5,343,635	86,416	5,430,051	1,093	5,431,145	—	5,431,145
その他の項目							
減価償却費	32,753	11,084	43,837	7	43,844	—	43,844

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の内容は、△332,168千円は全社費用であり、その内容は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	財務諸表 計上額 (注)3
	港湾運送 事業	自動車運送 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	9,044,458	162,591	9,207,050	4,635	9,211,685	—	9,211,685
外部顧客への売上高	9,044,458	162,591	9,207,050	4,635	9,211,685	—	9,211,685
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,319,863	627,018	1,946,881	—	1,946,881	△1,946,881	—
計	10,364,321	789,609	11,153,931	4,635	11,158,566	△1,946,881	9,211,685
セグメント利益又は損失 (△)	690,805	△11,642	679,163	4,595	683,759	△336,421	347,338
セグメント資産	6,044,270	103,490	6,147,760	1,133	6,148,894	—	6,148,894
その他の項目							
減価償却費	44,291	7,542	51,833	12	51,846	—	51,846

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の内容は、△336,421千円は全社費用であり、その内容は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報「3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産及びその他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報」をご参照ください。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高であって、損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報「3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産及びその他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報」をご参照ください。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高であって、損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

	報告セグメント			その他 (注)	全社・消去	合計
	港湾運送事業	自動車運送事業	計			
当期償却額	26,524	1,396	27,920	11	—	27,931
当期末残高	53,048	2,792	55,840	22	—	55,862

(注) 「その他」の金額は、保険その他の事業に係るものであります。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

	報告セグメント			その他 (注)	全社・消去	合計
	港湾運送事業	自動車運送事業	計			
当期償却額	26,524	1,396	27,920	11	—	27,931
当期末残高	26,524	1,396	27,920	11	—	27,931

(注) 「その他」の金額は、保険その他の事業に係るものであります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
1株当たり純資産額	714円99銭	1株当たり純資産額	840円83銭
1株当たり当期純利益	51円86銭	1株当たり当期純利益	69円01銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
損益計算書上の当期純利益 (千円)	269,543	334,697
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	269,543	334,697
普通株式の期中平均株式数 (株)	5,197,627	4,849,984
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

3 1株当たり当期純資産額の算定上の基礎

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	3,467,838	4,077,926
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,467,838	4,077,926
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末普通株式の数 (株)	4,850,186	4,849,854

(重要な後発事象)

該当事項はありません。